



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 4 質の高い教育をみんなに
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさを守ろう

ナオイオートは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

ナオイオートSDGs宣言

私たちナオイオートは茨城県内の小学校に森を創る「ナオイの森ECOプロジェクト」を推進し地球温暖化の抑制と地元の子供たちの健全な育成をめざしてSDGsに貢献します



木曾や吉野にひけをとらない八溝山の檜！
木工技術と職人の手仕事が生み出す
檜のやさしい手触りを大切に！

豊かな自然環境で育くむ思い出を
地元の小学校へ届けたい

13校目を迎えた「ナオイの森ECOプロジェクト」、今回は土浦市立新治学園義務教育学校です！ナオイオートにご来店いただいた皆さまからいただいた募金の積み重ねで、子どもたちが通う学校に、自然にふれる美しい環境をお届けすることができました。ありがとうございます。

豊かな自然環境で育くむ思い出を
地元の小学校へ届けたい

公益社団法人茨城県森林・林業協会の「緑の募金活動」の一環に、地域社会への貢献を可能にする「企業の森づくり」という取り組みがあることを知り、2009年にナオイオートも参画。地元の小学校に森をつくる「ナオイの森ECOプロジェクト」を立ち上げました。2010年に第1弾、かすみがうら市立新治小学校の広い森にウッドチップを敷きつめて遊歩道を整備し、以降は毎年のようにプロジェクトを推進してきました。一言で森と称していますが、子どもたちが長く過ごす学校で自然環境に触れる場所づくりがテーマであり、時には荒れてしまった中庭の改修や、木製の遊具のリニューアルなど、様々なカタチとなります。新治学園義務教育学校は藤沢小学校・斗利出小学校・山ノ荘小学校と新治中学校を統合して2018年に新設された、



八木沢木工 代表取締役 八木 章さん

木曾や吉野にひけをとらない八溝山の檜！
木工技術と職人の手仕事が生み出す
檜のやさしい手触りを大切に！

届けられた檜のテーブルと椅子はどうか。完成するまで、ものづくりの現場を拝見させて頂きたく、水戸市にある八木沢木工さんへ。1867年創業の木製家具専門の会社で、代表を務める八木沢章さんは5代目になります。工場には沢山の木材や大きな専用の機械が並び、職人さんたちが木に新しい命を吹き込む姿を見ることが出来ます。木の性質を知り尽くしているからこそ、木曾や吉野にもひけをとらない茨城の「八溝檜」を大切に、無駄のないよう様々な製品づく

土浦市で初めての小中一貫校です。児童・生徒数は令和5年で480名、1年生から9年生まで、ともに学び成長する環境づくりもモデルとされているように、開放感のある教室や茨城産の杉の廊下が使われるなどの試みも印象的です。この場所が、こんな空間になったら、という様々な候補の中から、今回は図書室で使われる大きなテーブルと椅子を、茨城産、八溝山の無垢材で作してお届けすることになりました。

校内の2階にある図書メディアセンターに、茨城産檜の大型テーブル2台と椅子4脚を3月16日に納めさせていただきました。弊社直井社長から6年の児童の皆さまへナオイの森



りに力を注いでいます。「やわらかい木質の檜は本来、家具には向かない材料です。20年ほど前に『家づくりとあわせて檜の造作家具をつくりたい』と相談をうけたことがきっかけで、檜の家具づくりへの挑戦をはじめ、トライ＆エラーを繰り返しながらようやく形になりました」と八木沢社長。日常生活になじむやさしい家具をコンセプトに、テーブルや椅子、オーダーキッチンなどを制作しています。

その過程でうまれる端材をいかしてコップや赤ちゃんの歯がため玩具『しゃしゃかドーナツ』などのアイテムも独自に制作。材料を捨ててしまうところを最小限に努め、素材を大事に使っています。特に八溝山の檜にこだわり取り扱うのも、放置されてしまった多くの森林を整備する一助となると考えているためでもあります。

「五感で感じるファクトリーショップ」が工場に隣接しています。ぜひ檜の手触りや家具や雑貨のやさしい日常を体感してみてください。



八木沢木工
水戸市五軒町3-3-66
〈電話〉☎0120-900-177
〈HP〉www.yagisawamokko.jp
工場に隣接したファクトリーショップ
国産材家具や雑貨を見て触れて楽しむ
〈営業時間〉平日:10~18時
土日祝:11~19時
〈定休日〉不定休



店はお客様のためのにあるを
モットーに自らも畑を耕し、
自然を愛する
社長 直井清正



第13弾 2023年3月16日 土浦市立新治学園義務教育学校

左より茨城県農林事務所 林業振興課課長 金川聡様、公益社団法人茨城県森林・林業会 緑化部長 吉成浩様、弊社代表 直井清正社長、校長 中島健一郎様、アップカレッジ事業部長 熊城俊郎、関係各位様、小学校6年生の皆様のご協力が無事にお納めすることができました。

ナオイのCSRレポート Vol.35
子どもたちの森を元気に
ナオイの森 ECOプロジェクト

ECOプロジェクト
これまでの歩み

詳しくはこちら
<https://possi-naoibaraki.com>

「ナオイの森」ECOプロジェクト・レポート 第13弾 土浦市立新治学園義務教育学校へ



豊かな感性を育むテーブルや椅子

豊かな感性を育むテーブルや椅子

Continue the project

- 第1弾 2010年度
かすみがうら市立 新治小学校
校内にある森の中に、ウッドチップを敷きつめた遊歩道をつくりました!
- 第2弾 2011年度
取手市立 白山小学校
2つの大きな池と藤棚がある「水と緑のなかよし広場」が完成!
- 第3弾 2013年度
水戸市立 城東小学校
昔から子供達に親しまれてきた野鳥観察板をキレイにリニューアル!
- 第4弾 2013年度
龍ヶ崎市立 松葉小学校
間伐材を再利用して子どもたちが作った記念のベンチ!
- 第5弾 2014年度
守谷市立 守谷小学校
間伐材を再利用したウッドテーブル12セットが出来上がりました!
- 第6弾 2015年度
筑西市立 小栗小学校
昔から子どもたちがずっと遊んできた木製遊具をキレイにリニューアル
- 第7弾 2016年度
つくば市立 豊里学園上郷小学校
小学校に元々あった「いこいの森」をきちんと整備しました!
- 第8弾 2017年度
坂東市立 飯島小学校
昔からあった「もりのこみち」が整備されキレイに蘇りました!
- 第9弾 2018年度
結核市立 上山川小学校
ブルーベリーの植樹とウッドテーブルウッドチェアを3セット寄贈しました!
- 第10弾 2019年度
牛久市立 岡田小学校
ランチルームにウッドテーブルを7セット寄贈しました!
- 第11弾 2020年度
ひたちなか市立 前渡小学校
ほたるの森の池周辺の整備、木製階段の設置をしました!
- 第12弾 2021年度
下妻市立 下妻小学校
榎の大木の元に憩いの場として木製のテーブル、椅子のセットを設置しました!

PRESENT 読者プレゼント

茨城産檜で作られた「ヒノキのコップ」「ヒノキのスマートフォンスタンド」プレゼント! 八木沢木工様ご提供

応募方法は10ページへ